

# 特定外来生物 ウチダザリガニ報告

## はじめに

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）が裏磐梯地域での繁殖地の一つであることはまちがいないと思われる。そこでの駆除活動は継続しながら、他のウチダザリガニ繁殖地を調査する活動をした。また、コカナダモの駆除がウチダザリガニにどのように影響するのか推移をみることにした。

今年度は休暇村キャンプ場を使用し講座「特定外来生物ウチダザリガニをさぐれ」（講師：五十嵐 悟氏）を主催、観光協会主催の「ウチダザリガニグランプリ」企画の中で児童・保護者参加でウチダザリガニについて知識を持ってもらうために、長瀬川にかかる五色橋たもとで砂川光朗講師による「ウチダザリガニを触ってみよう」や村内小学校への課外プログラム協力など次世代に向けた特定外来生物講座を開催した。

## 調査日

平成30年5月29日・7月4日（出前講座）・18日・20日・29日（講座）  
8月19日（講座）・10月23日・

## 調査方法

前日に沼や川に餌を入れたかごをかけて翌日引き上げて捕獲する

## 調査範囲

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）、曲沢沼脇の小さい沼、村道曾原線築部沢側3箇所、休暇村側1箇所、長瀬川にかかる五色橋たもと

## 考 察

レイクウッド沼が昨年、コカナダモを駆除したので、どう変化していくのかを調査を継続していかなければいけない。沼の水抜きが実現できなかった。昨年10月の終わりに確認したかった抱卵状態の様子を、今年確認する事が出来た。曾原湖の流出口からは休暇村内を通り、キャンプ場脇の人工池～長瀬川に合流して小野川湖に流入するルートがあり、その支流が村道曾原線沿いの通称（堤防沼）と呼ばれる沼①に流れている。村道築部沢山側にある華蔵沼②・ジュンサイ沼③・小野川遊歩道奥より流出して小野川湖に流入している小川を調べた。小野川湖・桧原湖もどの程度少なくなってきたのかも再確認する必要があるが今年ではできなかった。小野川～流出して五色橋付近で捕獲できる個体がどこで繁殖しているのかを駆除活動を継続しながら、次年度調査し、裏磐梯のウチダザリガニの生息状況について把握することに努めたい。なお今年度は、裏磐梯観光協会が8月にウチダザリガニプログラムを1回実施するにとどまったため、また曲沢での個体の減少傾向がなくなった。観光協会のプログラムによっては今後の増加が懸念されるので、曲沢上流域の沼での駆除活動を強化しなければならない。また他の場所への流出も考慮しもちだし禁止の看板の件等話し合っていきたいと思う。

## 調査者

担当：真野真理子 立花千秋

## 第一回調査駆除活動

5月29日 曲沢沼上流域沼（レイクウッド沼） 水温11.5℃

捕獲方法 カニ罎4個、餌：カツオのあら 48匹

雄 34匹 平均 体長8.77cm 胸一頭3.40cm 欠損6匹

雌 14匹 平均 体長8.50cm 胸一頭3.38cm 欠損2匹



\*コカナダモの駆除により湖面も透明感があり、明るい感じがする。アブラハヤの稚魚が混入  
右写真のミズナラの大木木陰の罎に多く入る

## 出前講座 さくら小学校4年生

7月4日 曲沢沼脇の小さい沼と川

捕獲方法 釣ざお使用 餌：するめ

雄+雌 197匹



\*昨年は比較的小さな個体が多く網ですくう子も多かったが、今年は竿で釣るのに熱中していた。  
実施以前に環境省アクティブレンジャーによる外来生物講義を受けており、質問も多く出ました。

## 第2回調査駆除活動

7月18日 華蔵沼、じゅんさい沼A、じゅんさい沼B 水温16℃

捕獲方法 カニ罎各沼に1個、餌：カツオのあら 3箇所合計0匹



\*ジュンサイ沼Bにはアカハライモリなどがかかる  
休暇村側1箇所（通称 堤防沼）

捕獲方法 カニ籠1個、餌：イワシ 13匹

雄 5匹 平均 体長10.72cm 胸一頭3.96cm 欠損2匹

雌 8匹 平均 体長9.11cm 胸一頭3.47cm 欠損3匹



\*曾原湖からの流入と思われるが、殻硬く欠損割合が高く繁殖地には思えない。

築部沢側別荘地小川1箇所

捕獲方法 カニ籠1個、餌：イワシ 15匹

雄 12匹 平均 体長8.84cm 胸一頭3.16cm 欠損3匹

雌 3匹 平均 体長8.83cm 胸一頭3.36cm 欠損1匹



\*小川ながら、水流は早い。目視でも見つけれられるとのこと、上流に繁殖地があるのか。

### 第3回調査駆除活動

7月20日 曲沢沼上流域沼（レイクウッド沼） 水温 24℃

捕獲方法 カニ籠 5 個 餌 カツオのあら 422 匹 欠損 92

雄 273 匹

雌 149 匹



\*コカナダモが繁茂し始めている。

\*籠4つのうち左に大きなミズナラが湖に木陰を作っているところにおいてある籠にたくさん入っている。脱皮後のもののおおくあった。放射能測定のため、不計測。

### 講座「特定外来生物ウチダザリガニをさぐれ」

7月29日 場所：休暇村キャンプ場

講師：五十嵐 悟氏

捕獲方法 網、素手 （カニ籠は使用していない）



講座「ウチダザリガニを触ってみよう」講師：砂川光朗氏

8月19日 場所：長瀬川にかかる五色橋たもと

講師：砂川光朗 参加者約 50 名

捕獲方法 カニ籠 4 個 カツオのあら コイの餌併用 42 匹



＊観光協会主催「ザリガニグランプリ」当日の午前中に長瀬川にかかる五色橋たもとにて、砂川光朗講師による「ウチダザリガニを触ってみよう」というテーマでお話していただき、前日にかごを仕掛けて捕獲したウチダザリガニを子供たちに触って、良く観察してもらった。

#### 第4回調査駆除活動

10月23日 曲沢沼上流域沼（レイクウッド沼） 水温 14℃

捕獲方法 カニ簗4個 餌 コイの餌 105匹

雄 73匹 平均体長 9.01cm 頭一胸 3.74cm 欠損 23匹

雌 32匹 平均体長 6.8cm 頭一胸 2.63cm 欠損 8匹 抱卵 11



＊例年より水温が高いせいか、雌が多く捕獲できたので、駆除効果が大きいものと思われる

＊湯水もあるせいかコカナダモ多く繁殖していた。

＊昨年10月の終わりに確認したかった抱卵状態の様子を、今年確認する事が出来た。

1匹取り出し卵数を計測したところ

150個抱卵していた（抱卵個体11）



今年度、猪苗代湖・裏磐梯湖沼群水環境保全支援事業でチラシを作製しました。

**特定外来生物 ウチダザリガニ**

ウチダザリガニは特定外来生物です

「特定外来生物」は、外来生物(海外起源の外来種)であり、生態系や人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼす恐れがある生物のことです。

明治以降、多くの動物や植物がペットや展示用、食用、研究などの目的で輸入されたり、畜産や釣り場などに紛れ込み付着して持ち込まれたものも多くあります。これらは、意図的・非意図的の違いはありますが、人間の活動に伴って日本に入ってきているという点で共通しています。(環境省HPより)

Q1: なにか問題になっているの? Q2: 捕まったらどうすればいい?

身体が大きくなり、もともと住んでいた魚や植物を食べてしまったりと捕食と食べます。そのほか生態系を壊す恐れがあります。本来の生態系が壊れると、魚やホタルの餌となるカワブトなどが増えていってしまうので、生態系が広がり、陸原湖をはじめ、曾原湖や秋元湖、小野川湖にもたくさん生息しています。

もともと食用として入ってきたので、食べて食べてしまうのも手段です。人為的に広めたりしないことが大事です。下記の禁止事項があるので注意しましょう。

【外来生物被害予防三原則】  
 1. 飼育の禁止  
 2. 取付の禁止(キャッチ&リリースは可)  
 3. 生き物運搬の移動の禁止  
 4. 上投の違反があれば  
 個人: 3年以下の懲役(罰金)または300万円以下の罰金  
 法人: 1億円以下の罰金

NPO 法人裏磐梯エコツアーリズム協会  
 〒974-2701 福島県耶麻郡北磐梯村大字輪原字小野川 1092-85 裏磐梯サウスイーション  
 TEL: 0241-23-7880 FAX: 030-7841-3411 info@eco-urabandai.com

湖未來基金の助成により作成いたしました  
 自然観察日記